

和話輪を広げる

2025 年度 文化講座#1 のご案内

「和歌と書をたのしむ ～やさしくふれる、かなの世界～」

瀬邊 風馬 先生（高校国語科）

講師紹介

東海高校 70 回卒。東海中高書道部顧問。

3歳で書道を始める。高校在学中から中日書道展に出品しつづけ、現在は無鑑査の展覧会役員。

「近代詩文」という、近現代の詩を紙面に表現するジャンルで制作を続けている。

昨年の中日書道展出品作品は画像ひだり。

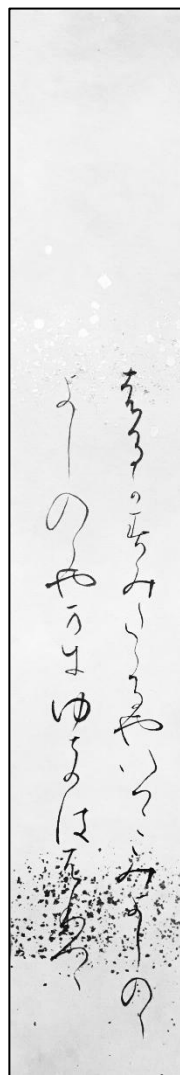
大学在学中は日本文化論を専攻。卒論題目は「日本における桜に対する美意識の萌芽—万葉集と古今和歌集の桜歌を対照して—」。

【講座のご紹介】

かつて「七夕」は、字の上達を祈願する祭りでもありました。人々は短冊に和歌をしたため、詩歌と書を楽しんだといひます（画像右）。笹の葉に飾る短冊はその名残です。

今回の講座では、短冊に和歌をしたためるための「かな書道」の基本をご紹介します。簡単ではありますが筆ペンで短冊に和歌を書いていただき、先人たちと同じような七夕の楽しみ方を実践できればと思います。

かな書道のワークショップに先立ち、和歌の世界にもご案内します。



日時：6月8日(日)午前 10 時～12 時

会場：スタディーホール

参加費：500 円

定員：50 名(先着順)

申込み：5月11日(日)～

右のQRコードよりお申し込みください。
※定員に達し次第、締め切ります。



お問い合わせ：籠谷優(高校国語科)

主催：東海中高父母懇談会学芸部